

富裕層向けに石川を紹介する短編映像の制作を進めるスタッフ
—金沢市のひがし茶屋街



海外富裕層の観光客誘致を目指し、石川での「質の高い観光」を提案する短編映像の制作が県内で進められている。映像は富裕層を呼び込むため十四日に県立美術館で初開催される「ラグジュアリーライフスタイル国際会議」を皮切りに、フリーコンテンツとして海外旅行博などさまざまな場面で活用される。映像制作は経済産業省の補助を受け、都内のデジタルコンテンツ制作会社などが手掛ける。東京オリンピック招致に向けた東京紹介のPR映像を手掛けたCMディレクターの平方宏明氏が制作し、県内の旅館や料理屋のほか、県も協力する。撮影は二日から始まり、三日には約二十人のスタッフが、金沢市のひがし茶屋街に約四十軒の赤じゅうたんを

「リッチな石川の旅」映像に 14日 国際会議でお披露目

海外の富裕層誘致に活用

石川政経

県と県観光連盟は六日から二日間、国内に（東京）と連携し、外国人記者を招く取材ツアーを実施する。フランス、ドイツ、スイスなど欧州を中心に八カ国八社の記者が参加予定で、海外メディアを通じて石川の歴史や伝統を発信し、誘客につなげる。取材ツアーはフォー

海外プレス招き取材ツアー

誘客へ県と県観光連盟

あすから 8カ国の記者参加

れ、三分、五分、十五分バージョンが制作される。国際会議を主催するザ・リアル・ジャパンいしかわプロジェクト推進協議会は「城下町金沢の非日常的で幻想的な雰囲気が出ており、海外市場にも受けそう」としている。

敷き、金沢の「和」の雰囲気も収録した。このほか兼六園や金沢の町並み、加賀料理などを題材にし、例えば輪島市の千枚田では「景色を独り占めしてワインや食事を楽しむ」など、通常の観光映像とはひと味違った「特別な体験」のイメージを軸に石川を紹介する。撮影は五日まで行